

北建工業株式会社様と 「サステナブル経営支援ローン」の契約を締結しました

北洋銀行(取締役頭取:津山 博恒)は、北建工業株式会社様(北海道名寄市、代表取締役:山本 和則様)に対し、「サステナブル経営支援ローン」(以下、本ローン)を実行しました。

本ローンは、北洋銀行が提供するSDGsコンサルティングや、お客さまとの対話を通じて設定された重要課題のうち、環境・社会・経済に好影響を与え得るもの、もしくは悪影響を抑制し得るものを「サステナビリティ目標」と定義し、その有意義性について第三者からセカンドオピニオン※を取得する融資商品です。

北建工業株式会社様では、重要課題を「地域の生活インフラ維持のための組織基盤強化」と特定し、従業員の有給休暇取得向上や専門資格の取得支援など働きがい向上に取り組むことで、持続可能な社会の実現と自社の企業価値向上の両立を目指しています。

当行は、今後もほくようサステナブルファイナンス等を通じて環境・社会課題の解決を図るお客さまやプロジェクトを積極的に支援し、脱炭素社会の実現やSDGsの達成に貢献してまいります。

※株式会社北海道共創パートナーズによるセカンドオピニオンは別紙をご参照ください。

記

【北建工業株式会社様の概要】

所在地	北海道名寄市西3条北2丁目11番地1
代表者	山本 和則 様
設立	1968年5月
業種	建設業(土木工事業)、製造業(農業資材製造)

【契約記念の様子】



左：北建工業株式会社
代表取締役 山本 和則 様

右：北洋銀行
名寄支店長 高橋 宰紀

以上

《北洋銀行グループ サステナビリティ方針》

北洋銀行グループは「経営理念」と「行動規範」に基づく企業活動を通じて、当行グループを支えていただいている全てのステークホルダーと地域社会・環境の持続的発展に貢献するとともに、当行グループの中長期的な企業価値の向上と持続的経営の実現に努めます。

北建工業株式会社

評価日：2026年6月30日

ほくようサステナブルローン

サステナブル経営支援ローン

株式会社北海道共創パートナーズ
ソーシャルインパクト事業部

本セカンドオピニオンは、北建工業株式会社(以下、北建工業または当社という)が北洋銀行の融資商品「サステナブル経営支援ローン(以下、本ローン)」を利用するにあたり、株式会社北海道共創パートナーズ(以下、「HKP」)が第三者の立場から発行するものである。

本ローンは、お客さまのSDGs経営とサステナビリティ目標に対し、第三者からの評価を取得し、融資実行後においても北洋銀行との継続的な対話等を通じ、企業の持続性の向上を支援する商品である。

1. 企業概要

(1) 基本情報

企業名	北建工業株式会社	
代表者名	代表取締役 山本 和則	
所在地	【本社】 北海道名寄市西3条北2丁目11番地1	
資本金	20 百万円	
売上高	597 百万円 (2026 年 3 月期)	
従業員数	38 名 (2026 年 3 月末時点)	
事業内容	■ 建設業(土木工事、水道工事) ■ 製造業(農業用培土製造・販売) ■ 運送業(建設資材運送、除排雪) ■ 産業廃棄物収集運搬業(金属回収・販売)	
沿革	1949 年	山本 巖氏が個人創業し、名寄市にて建設業(土木・水道)を開始する
	1968 年	北建工業株式会社を設立、代表取締役に山本 巖氏が就任
	1992 年	山本 重存氏が代表取締役に就任
	1998 年	一般貨物自動車運送業を開始
	2003 年	産業廃棄物収集運搬業を開始
	2004 年	金属回収、販売業を開始
	2005 年	水稲用育苗培土の製造、販売業を開始
	2015 年	山本 重存氏が代表取締役会長に就任
		山本 和則氏が代表取締役社長に就任

(2) 経営理念等

北建工業は、地域や従業員への感謝を忘れず「地域に愛される会社であり続けること」を理念とし、創業以来、拠点である名寄市に根差した事業を展開している。経営方針として「顧客満足に重点を置き、従業員一人一人の技術・能力を高め顧客の要求事項に応えること」、「無駄を省き、業績の向上と従業員の生活の安定を図り、社会的信頼を高めること」を掲げ、顧客からの満足及び信頼を得るとともに、地域社会に密着した会社を目指している。

(3) 事業概要

北建工業株式会社は、北海道名寄市に本社を置く企業である。1949年に山本 徹氏が名寄市で建設業(土木工事・水道工事)を個人で創業。その後、1968年に当社を設立し、上川管内を事業エリアとして建設事業を拡大。道路や河川、水道工事により地域の生活インフラ維持に努めるとともに、様々な領域に事業を進出。1998年には一般貨物自動車運送業、2003年には産業廃棄物収集運搬業、2006年からは農業資材製造販売業を開始し、水稻・野菜の育苗培土の製造を開始した。

主な事業内容は以下の通り。

① 建設関連事業(土木工事・建築工事・水道工事)

道路・河川・農業基盤整備などの土木工事と、公共施設や民間建築の新築・改修、上水道・下水道の配管布設、老朽管更新などの水道工事を担う。主な受注先は、名寄市や北海道をはじめとする自治体、地元企業などで、公共・民間工事を問わず、工事実績を有している。当社は、上川の地域インフラを支える企業として、様々な工事を受注しており、地域に根差した豊富な施工実績と継続的な入札参加を通じて築いた信頼関係、加えて農業土木、建築、水道工事の幅広い分野に対応できる総合力を最大の強みとする。また、工事施工を実現する技術やノウハウはもちろん、専門工事業者との協力体制、水道ライフラインの緊急対応体制も基盤として構築することで、建設業を通じた社会基盤の維持に貢献している。

【施工実績(一例)】

■ 水道工事



■ 土木工事



【出所：北建工業提供資料】

② 製造業(農業用培土製造・販売)

農業用の苗を育てるための専用土である「育苗培土」を製造・販売。自社工場でピートモス、パーミキュライト、パーライト、堆肥などの原材料をブレンドし、水稻や畑作の育苗期に使用する培土を製造している。主な販売先は、地域の農家、農業法人などであり、地域の主要産業の一つである農業を支えている。




育苗培土は、原材料の配合により、「保水性・透水性・通気性」のバランス、「清潔な土」、「適度な湿気」が保たれていることが品質上重要であり、当社は、地域資源である「名寄の土」を自社所有山林から採取した後、大型バーナーによる熱処理を加え雑菌・種子根を死滅させ、技術者の技術、経験に基づき pH 調整、良質な土改材、肥料を配合、育苗試験を実施。保水性と透水性・通気性を備えていることはもちろん、根鉢形成がよく根張りの強い良質な苗を形成できることに加え、軽量培土の製造を行っており、播種作業の負担軽減にも貢献している。

【工場】



【出所：北建工業提供資料】

【製品(一例)】

製品	特徴																														
<p>【みのりまっと】</p>  <p>特長</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 水稲用培土として透水、保水、通気性に優れた各種原材料が使用されております。 2. 適度な粘性を持ち、堅固なブロックを形成し、浮苗等が少なく圃場によく馴染みます。 <p>使用方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各ポットに均等に詰め、ポット上面より2mm突き出す。 2. 圃場の深さは、上面から9～10mmとします。 3. みのりまっと成苗用1袋当たり、播種枚数は17枚です。(※土使用のみ) 播種枚数を算出してください。 <p>注意</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 水分を調整してありますので、乾燥を避けるために播種時に湿らせてください。 2. 土質が不足しますと、成苗では根形成が不十分となり、中苗では播種不足が生じてマッド形成に発展するため、植え付け直前に確認してください。 3. 保水性の高い培土ですので、灌水量に注意してください。水のやり過ぎは徒長、根腐れ下を招きます。 4. 農薬は入っておりません。防除等は所定の方法で行ってください。 5. 施肥は生育状況に応じて適時行ってください。 6. 商品にご注意ください。 <p>性状</p> <table border="1"> <tr> <td>粒径</td> <td>4.5～5.0</td> <td>EC</td> <td>1.5m S/cm以下</td> </tr> <tr> <td>粒度</td> <td>0～4mm</td> <td>水分</td> <td>20%～24%</td> </tr> <tr> <td>原料成分</td> <td>成苗 N 0.5g P 1.0g K 0.5g 腐土 糞</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中苗</td> <td>N 1.1g P 2.2g K 1.1g 腐土 糞</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>成苗</td> <td>17枚 0～1mm突き出し (※土使用のみ)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>播種枚</td> <td>中苗 7.5枚 7mmカット (※土使用のみ)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	粒径	4.5～5.0	EC	1.5m S/cm以下	粒度	0～4mm	水分	20%～24%	原料成分	成苗 N 0.5g P 1.0g K 0.5g 腐土 糞			中苗	N 1.1g P 2.2g K 1.1g 腐土 糞			成苗	17枚 0～1mm突き出し (※土使用のみ)			播種枚	中苗 7.5枚 7mmカット (※土使用のみ)			<ul style="list-style-type: none"> ● 水稲用培土として、透水、保水、通気性に優れた各種原材料を使用。 ● 適度な粘性を持ち、堅固なブロックを形成し、浮苗等が少なく圃場によく馴染みます。 						
粒径	4.5～5.0	EC	1.5m S/cm以下																												
粒度	0～4mm	水分	20%～24%																												
原料成分	成苗 N 0.5g P 1.0g K 0.5g 腐土 糞																														
中苗	N 1.1g P 2.2g K 1.1g 腐土 糞																														
成苗	17枚 0～1mm突き出し (※土使用のみ)																														
播種枚	中苗 7.5枚 7mmカット (※土使用のみ)																														
<p>【みのりライト】</p>  <p>特長</p> <p>従来の水稲培土より軽量化に優れ、播種、運搬作業などが大幅に軽減されます。良質な食物繊維を多く含み、保水性に優れ、水管理が楽になります。腐植酸肥料の配合により、発根効果が高く健康な苗ができます。</p> <p>使用方法</p> <p>中苗</p> <p>土詰めは上面より6mm突き出し、成苗の深さを24mmにしてください。</p> <p>1袋から取れる播種数は7.5枚です。</p> <p>成苗</p> <p>播種機・保土ネット下の土押しローラーを下げ、土を詰め、ポット上面より0～1mm突き出し、圃場の深さは9～10mmとしてください。</p> <p>圃場干渉による播種不足は、圃場に発生をたしめます。</p> <p>1袋から取れる播種数は17枚です。</p> <p>注意</p> <p>保水性の高い培土なので、灌水量に注意して下さい。灌水し過ぎると徒長、根腐れ下を招きます。</p> <p>施肥は生育状況に応じて適時行ってください。</p> <p>※商品品の使用は、ハウスなどにて乾燥してから使用して下さい。</p> <table border="1"> <tr> <td>粒径</td> <td>4.5～5.0</td> <td>EC</td> <td>1.5m S/cm以下</td> <td>粒度</td> <td>0～4mm</td> </tr> <tr> <td>原料成分</td> <td>成苗 N 0.5g P 1.0g K 0.5g 腐土 糞</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中苗</td> <td>N 1.1g P 2.2g K 1.1g 腐土 糞</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>成苗</td> <td>17枚 0～1mm突き出し (※土使用のみ)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>播種枚</td> <td>中苗 7.5枚 6mmカット (※土使用のみ)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	粒径	4.5～5.0	EC	1.5m S/cm以下	粒度	0～4mm	原料成分	成苗 N 0.5g P 1.0g K 0.5g 腐土 糞					中苗	N 1.1g P 2.2g K 1.1g 腐土 糞					成苗	17枚 0～1mm突き出し (※土使用のみ)					播種枚	中苗 7.5枚 6mmカット (※土使用のみ)					<ul style="list-style-type: none"> ● 従来の水稲培土より軽量化に優れ、播種、運搬作業負担などを大幅に軽減する。 ● 良質な食物繊維を多く含み、保水性に優れ、水管理が楽になる。 ● 腐植酸肥料の配合により、発根効果が高く健康な苗になる。
粒径	4.5～5.0	EC	1.5m S/cm以下	粒度	0～4mm																										
原料成分	成苗 N 0.5g P 1.0g K 0.5g 腐土 糞																														
中苗	N 1.1g P 2.2g K 1.1g 腐土 糞																														
成苗	17枚 0～1mm突き出し (※土使用のみ)																														
播種枚	中苗 7.5枚 6mmカット (※土使用のみ)																														
<p>【やさい育苗土】</p>  <p>やさい育苗土</p> <p>保水・透水性に優れ、水管理が大変軽減されます。播種が良く、根張りの良い良質な苗ができます。</p> <p>※用原料：粘土鉱物・リトニアビートモス 火山燧・バーライト 肥料 pH調整剤</p> <p>理科学性：pH6.0前後 EC1.0m S/cm前後 粒度：0～10mm 肥料成分添加量 1L当たり N-200mg P-600mg K-200mg</p> <p>やさい育苗土 無肥料</p> <p>保水・透水性に優れ、水管理が大変軽減されます。通気性が良く、根張りの良い良質な苗ができます。</p> <p>肥料は入っていません。必ず生育状況を確認し、適時施肥して下さい。</p> <p>※用原料：粘土鉱物・リトニアビートモス 火山燧・バーライト pH調整剤</p> <p>理科学性：pH6.0前後 粒度：0～10mm</p> <p>使用上の注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 他の肥料と混合すると、本培土の特性が損なわれますので、十分注意して下さい。 ● 本培土は、100%のセルトレイ播種育苗用から取り除き用向けです。 ● 圃場の深さは、苗が根が伸びるほど浅く保ちて下さい。 ● 育苗状況に応じて、適時施肥して下さい。 ● 肥料は、早めに使用して下さい。 ● 肥料が入っていない培土は、発芽後使用の場合、覆土として使用して下さい。 <p>使用目安</p> <table border="1"> <tr> <th>播種深さ</th> <th>播種量 (g)</th> <th>1袋 (20L) 取れる播種数</th> </tr> <tr> <td>水稲育苗 (20L)</td> <td>2.8 ～ 3.2g</td> <td>9.3 ～ 10.7株</td> </tr> <tr> <td>瓜 類 (2.5寸)</td> <td>0.09 ～ 0.11g</td> <td>270 ～ 350株</td> </tr> <tr> <td>茄 果 類 (2.5寸)</td> <td>0.17 ～ 0.21g</td> <td>140 ～ 175株</td> </tr> <tr> <td>豆 類 (3.0寸)</td> <td>0.27 ～ 0.34g</td> <td>90 ～ 110株</td> </tr> <tr> <td>花 菜 (3.5寸)</td> <td>0.42 ～ 0.50g</td> <td>60 ～ 70株</td> </tr> <tr> <td>葉 菜 (4.0寸)</td> <td>0.57 ～ 0.71g</td> <td>40 ～ 50株</td> </tr> <tr> <td>計 画 128円</td> <td>3.3g</td> <td>9～9株</td> </tr> </table>	播種深さ	播種量 (g)	1袋 (20L) 取れる播種数	水稲育苗 (20L)	2.8 ～ 3.2g	9.3 ～ 10.7株	瓜 類 (2.5寸)	0.09 ～ 0.11g	270 ～ 350株	茄 果 類 (2.5寸)	0.17 ～ 0.21g	140 ～ 175株	豆 類 (3.0寸)	0.27 ～ 0.34g	90 ～ 110株	花 菜 (3.5寸)	0.42 ～ 0.50g	60 ～ 70株	葉 菜 (4.0寸)	0.57 ～ 0.71g	40 ～ 50株	計 画 128円	3.3g	9～9株	<ul style="list-style-type: none"> ● 保水・透水性に優れ、水管理負担が大きく軽減される。 ● 通気性が良く、根張りの良い良質な苗の育成につながる。 						
播種深さ	播種量 (g)	1袋 (20L) 取れる播種数																													
水稲育苗 (20L)	2.8 ～ 3.2g	9.3 ～ 10.7株																													
瓜 類 (2.5寸)	0.09 ～ 0.11g	270 ～ 350株																													
茄 果 類 (2.5寸)	0.17 ～ 0.21g	140 ～ 175株																													
豆 類 (3.0寸)	0.27 ～ 0.34g	90 ～ 110株																													
花 菜 (3.5寸)	0.42 ～ 0.50g	60 ～ 70株																													
葉 菜 (4.0寸)	0.57 ～ 0.71g	40 ～ 50株																													
計 画 128円	3.3g	9～9株																													

【出所：北建工業 HP より】

③ 運送業

1998年に一般貨物自動車運送許認可を取得し、主に当社の建設工事に関連した砂利や建設残土の運搬、冬季における排雪事業を手掛けていたが、2022年からはダンプを増車し取引先からの受注を開始。現在はダンプ5台を所有し、上川管内の建設事業者を対象に受注を獲得している。

当社は、大手と比較して所有台数が少ない一方、1台からでも配車が可能と小回りの利く受注体制を強みとするほか、他の運送事業者とも連携することで、地域内の車輛ニーズを素早くつかむことで取引基盤を確立。今では主力事業の一つに成長している。

2. サステナビリティ活動

(1) 環境への取り組み

- 事業活動を通じた環境配慮の取り組み

当社は、事業活動を通じた省エネルギー活動に取り組んでいる。具体的には、事務所照明におけるLEDへの入替や営業車両のHV化を実施。また、建設機械や運送車両のアイドリングストップなどに取り組むことで、事業から排出されるCO₂の削減に取り組んでいる。

(2) 社会への取り組み

- 従業員の働きがいの向上

当社の主力事業である建設業界や運送業界では、慢性的な人材不足が課題となっている。当社の位置する名寄市についても人口減少スピードが加速化しており、人材確保のハードルが高いエリアである。

このような中、当社は、従業員の働きがいを高めることで優秀な人材を確保し、地域インフラ維持に不可欠な安定した工事受注体制の確立に力を入れている。平成11年4月に第2・第4土曜日を休日とする運用を始め、令和6年4月に週休二日制を導入、さらに令和7年4月からは完全週休二日制を実施するなど、建設業界の中でも先駆けて働き方改革を推進してきた。また、有給休暇の積極活用による長期休暇推奨制度を整備し、ワークライフ・バランスの向上にも努めている。

公的資格の取得に関しては業務遂行に欠かせないため、土木施工管理技士、管工事施工管理技士、建設機械施工管理技士など幅広い資格の取得支援を行っている。これには、費用補助に加え講習受講料の支援や講習時間の確保を含む包括的なサポート体制が整っており、従業員のキャリア形成を力強く支援している。さらに、資格取得者には資格手当を支給し、意欲向上にもつなげている。




加えて、従業員のエンゲージメント向上にも注力している。現在は代表者と従業員の定期的なコミュニケーションを通じて意見を聴取し、職場環境の改善に努めている。今後は組織サーベイを実施し、エンゲージメントスコアを可視化することで、本質的な課題の把握と解決を目指している。

これらの取り組みを通じ、人材確保と高度な技術力維持を両立させ、当社の地域社会への貢献と持続可能な成長を支えるより強固な基盤を築いていく方針である。

3. サステナビリティ目標の設定

本ローンの取り組みにあたり、以下の重要課題の達成に向けたサステナビリティ経営の目標・KPIを設定した。

(1) サステナビリティ目標の設定

重要課題	地域の生活インフラ維持のための組織基盤強化		
取組内容	① 有給休暇取得率の向上によるワーク・ライフ・バランスの充実 ② 資格保有者の増加による専門性の強化		
目標・KPI	① 2029年3月期末までに有給休暇取得率を95%以上にする（実績86.3%） ② 2029年3月期末までに資格保有者数を以下の通りとする		
	資格名	実績 (2026年3月期末)	目標 (2029年3月期末)
	土木施工管理技士1級	5名	7名
	土木施工管理技士2級	4名	6名
	管工事施工管理技士1級	2名	3名
	管工事施工管理技士2級	2名	3名
	建設機械施工管理技士2級	1名	3名
	給水装置工事主任技術者	3名	(維持)3名
	浄化槽設備士	1名	2名
浄化槽管理士	1名	2名	
貢献するSDGs	  		

(2) サステナビリティ目標の有意義性

本ローンの組成にあたり、北建工業は重要課題(マテリアリティ)「地域の生活インフラ維持のための組織基盤強化」に基づき、従業員の働きやすさ向上と専門技術者の育成を柱とした具体的な目標・KPIを設定した。以下、取り組みの有意義性を見ていく。

① 有給休暇取得率の向上によるワーク・ライフ・バランスの充実

北海道「本道の雇用情勢について～本道の雇用情勢に関する点検評価～(令和6年度分)」によると北海道の平均有効求人倍率は0.94倍(新規学卒を除きパートタイムを含む)である一方で、建設業の有効求人倍率は4.20倍と高い水準にあり、人材採用の難易度が極めて高い状況が続いている。このことから、人材採用・定着における競争力の維持・強化は不可欠といえる。また、政府は働き方改革において、2028年までに「年次有給休暇の取得率を70%以上とする」ことを目標に掲げているが、厚生労働省「就労条件総合調査」(令和7年)によると建設業の有給休暇取得率は60.7%と目標を下回っている。

北建工業では、閑散期や年末年始、大型連休等に合わせた柔軟な有給取得の推奨により、既に厚生労働省の目標である年次有給休暇取得率70%以上を大幅に上回る86.3%の取得率を誇るが、今回さらに引き上げるべく取得率を95%とする目標を設定した。

有給休暇取得率向上は、従業員の働きがいやワーク・ライフ・バランス向上のみならず、企業の魅力向上にもつながる取り組みであり、人材確保の面においてもメリットをもたらす取り組みであることから、本目標・KPIは有意義である。

■労働者 1 人平均年次有給休暇の取得状況

企業規模・産業・年	(単位：日)		(単位：%)
	労働者 1 人 平均付与日数 ¹⁾	労働者 1 人 平均取得日数 ²⁾	労働者 1 人 平均取得率 ³⁾
令和 7 年調査計	18.1	12.1	66.9
1,000人以上	18.5	12.8	69.0
300～999人	18.4	12.3	66.8
100～299人	17.8	11.7	65.5
30～99人	17.4	11.3	64.9
鉱業、採石業、砂利採取業	18.2	13.5	74.3
建設業	18.3	11.1	60.7
製造業	18.8	13.7	72.8
電気・ガス・熱供給・水道業	19.5	14.7	75.2
情報通信業	18.9	12.7	66.9
運輸業、郵便業	17.4	11.4	65.3
卸売業、小売業	17.5	10.5	59.9
金融業、保険業	19.6	14.3	72.8
不動産業、物品賃貸業	17.8	11.6	65.5
学術研究、専門・技術サービス業	18.4	12.3	66.8
宿泊業、飲食サービス業	15.9	8.0	50.7
生活関連サービス業、娯楽業	17.7	10.6	59.6
教育、学習支援業	18.3	11.1	60.5
医療、福祉	17.7	12.1	68.4
複合サービス事業	19.7	11.2	57.1
サービス業（他に分類されないもの）	16.4	11.4	69.7
令和 6 年調査計	16.9	11.0	65.3

注：1) 「付与日数」は、繰越日数を除く。

2) 「取得日数」は、令和 6 年(又は令和 5 会計年度)1 年間に実際に取得した日数である。

3) 「取得率」は、取得日数計/付与日数計×100(%)である。

【出所：厚生労働省「令和 7 年就労条件総合調査」】

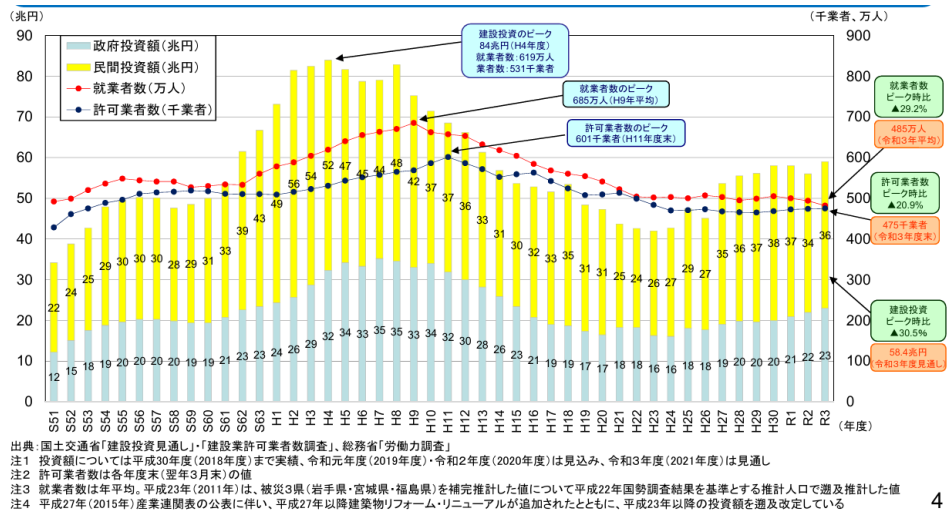
② 資格保有者の増加による専門性の強化

建設業では担い手不足が深刻であり、1997 年の 685 万人をピークに 2023 年には 483 万人まで減少（ピーク時比▲29.5%）。年齢階層別の建設技能者数では 60 歳以上が 25.8%、29 歳以下が 11.8%となっており、技能者の高齢化と若年層の担い手不足が課題となっている。また、技術者・現場代理人など専門性の高い人材の確保が喫緊の課題となっている。

当社では、受験費用補助、講習受講料の支援や講習時間の確保のサポートに加え、資格手当支給のインセンティブ、さらには経営者が従業員と日々対話を積極的に行うことでキャリア開発やスキルアップを促す仕組みを構築している。

当社の取組む資格保有者増加の取り組みは、政府が目指す業界課題の解決に資する有意義なものである。

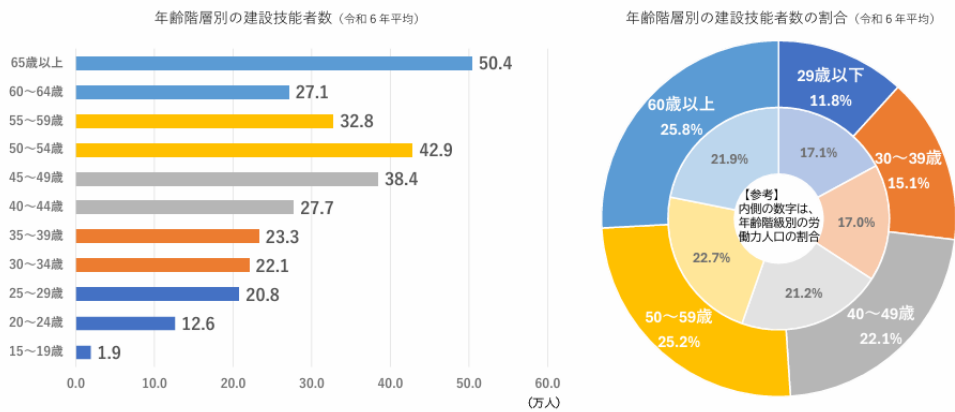
■ 建設就業者数の推移



4

【出所：国土交通省「最近の建設業を巡る状況について」】

■ 年齢階層別の建設技能者数



【出所：公益財団法人 建設業適正取引推進機構「建設業の現状と課題」】

株式会社北海道共創パートナーズ 会社概要

名 称	株式会社北海道共創パートナーズ
本社所在地	〒060-0042 札幌市中央区大通西3丁目7番地 北洋大通センター13階 代表 TEL : 011-596-7814
資 本 金	4,950 万円
株 主	株式会社北洋銀行
代 表 者	代表取締役社長 岩崎 俊一郎
事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ①経営に関する問題点の調査・分析、改善案の企画・立案 ②企業戦略の立案、システムの構築および事業承継およびM & Aに関する支援 ③人材育成のための研修業務 ④有料職業紹介事業(許可番号 01 コ-300467) ⑤投資事業組合財産の運用及び管理 ⑥株式、社債又は持分その有価証券に対する投資業務 ⑦前各号に付帯関連するコンサルティング業務 ⑧前各号に付帯関連する一切の業務
沿 革	<p>2015年 8月 株式会社日本人材機構 設立</p> <p>2017年 9月 株式会社日本人材機構と株式会社北洋銀行の共同出資により 株式会社北海道共創パートナーズ設立 コンサルティング事業とプロフェッショナル人材のシェアリング 事業を開始</p> <p>2018年 10月 有料職業紹介事業の許可を取得し、人材紹介事業に参入</p> <p>2020年 4月 株式会社北洋銀行が株式会社日本人材機構の保有する株式を 取得し、100%子会社化 株式会社北洋銀行から M&A 事業を移管</p> <p>2023年 4月 経営コンサルティング事業の中の補助金コンサルティングを 補助金事業部として事業部化</p> <p>2026年 4月 サステナビリティ経営支援チームと補助金事業部を統合し、 ソーシャルインパクト事業部発足</p>

留意事項

本文書は、貸付人が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の SDGs 経営とサステナビリティ目標の有意義性に対する第三者意見を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

HKP は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本文書に関する一切の権利は HKP に帰属します。HKP の事前の許諾無く、本文書の全部または一部を自己使用の目的を超えて使用すること(複製、改変、翻案、頒布等を含みます)は禁止されています。

【独立性】

HKP は、北洋銀行グループに属しており、北洋銀行および北洋銀行グループ企業との間および北洋銀行グループのお客さま相互の間における利益相反のおそれのある取引等に関して、法令等に従い、お客さまの利益が不当に害されることのないように、適切に業務を遂行いたします。

また、本文書にかかる調査、分析、コンサルティング業務は北洋銀行とは独立して行われるものであり、北洋銀行からの融資に関する助言を構成するものでも、資金調達を保証するものでもありません。

【第三者性】

借入人と HKP との間に利益相反が生じると考えられる資本関係及び人的関係などの特別な利害関係はありません。